

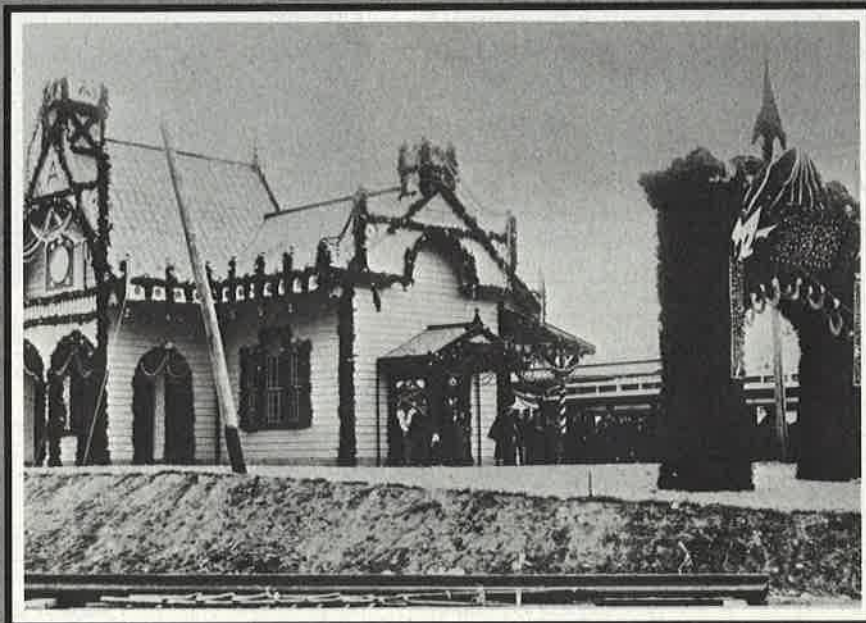
みのおのおいたち

その11

箕面地区(六)



開通当時の箕面駅(提供阪急電車)



ほぼ二世紀半においた幕府
政治も、一九世紀後半の慶応三
年(二八六七)一〇月一五日で

日に年号も「明治」と改められ、
以後、二年の版籍奉還、四年七
月の處置詔景で旧幕府以来の体

に分かれて属しましたが、四年
一月からは大阪府の管内にな
りました。ところが明治二一年
に「町村制」が公布され、従来
の町村が再編成されて、国の方
針に沿った行政村が設置されま
した。そこで地区の七カ村も合
併して二二年四月一日に「箕面
村」が発足しました。新村名は、
古代から有名な箕面山と箕面池
を村内に擁していたことからそ
の名が採用されました。

村名の起元にされた箕面山一

宝庫と言われる箕面山の自然は、
こうした歴史を背景にしていま
す。
一方、地区の平坦な地域、ど
りわけ西国街道筋の駅所がおか
れて宿場の賑いも見られた瀬川
と半町地区は、衰退と停滞の時
代に入りました。東海道線の開
通、蒸気船の出現などに代表さ
れる交通輸送機関の発達、また
旧幕府以来の宿駅制度の廃止か
らもたらされた時代の大波によ
るものでしょう。

終わり、同年一二月九日には王
政復古が宣言されて新政府が発
足しました。次いで翌年の九月八

制がなくなり、
そのため地区の村々は、新た
に設けられた大阪と兵庫の府界

帯の山地は、古くは聖地とされ、
江戸時代に入ると、鯉漢賞楓の
景勝でも知られていたのが、
新時代の明治初年に東京府下の
高尾山と共に、わが国では最初
の「公園地」、次いで「勝地」に
指定され、大都市近郊の自然公
園として保護されることになり
ました。明治一九年からは、地
元の平尾村が采山する「公衆ノ
便益」を図るために、滝安寺に
至る八百メートルの新遊歩道を
設けました。次いで同三一年に
は、滝を中心にした周辺八四万
六千平方メートルの一番が大阪
府初の府営公園である箕面公園
になりました。今でも動植物の

地区のこうした沈滞を破り、
地域の活性化と将来の展望を開
いたのが、明治四三年三月一〇
日から開通した箕面有馬電気軌
道株式会社(現在の阪急電車)
による電車の運行です。大阪都
心と直結した地区内の各所に住
宅街が相次いで誕生しました。
桜井・箕面・桜ヶ丘・百葉荘の
街区がつくられ、加えて同社は、
夜間の余剰電力を沿線地域の家
庭電灯用に供給しました。
したがって電車の開通は地区
にとって、新時代の到来と文明
開花の第一歩であったと言える
でしょう。